

# 中期目標の達成状況に関する評価結果

静岡大学

平成21年3月

独立行政法人大学評価・学位授与機構



## I 教育に関する目標

### 1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】「教育に関する目標」に係る中期目標（6項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

### 2. 各中期目標の達成状況

#### (1) 教育の成果に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】「教育の成果に関する目標」の下に定められている具体的な目標（4項目）のうち、2項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「学業の成果」「進路・就職の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### (2) 入学者受け入れに関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】「入学者受け入れに関する目標」の下に定められている具体的な目標（1項目）が「おおむね良好」であることから判断した。

#### (3) 教育内容等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】「教育内容等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のすべてが「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育内容」「教育方法」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### (4) 教育の実施体制等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】「教育の実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（1項目）が「おおむね良好」であり、この結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育の実施体制」の結果も勘案して、総合的に判断した。

### (5) 学生への支援に関する目標

[評価結果] 中期目標の達成状況がおおむね良好である

[判断理由] 「学生への支援に関する目標」の下に定められている具体的な目標（3項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

### (6) 教育活動の評価及びその改善に関する目標

[評価結果] 中期目標の達成状況がおおむね良好である

[判断理由] 「教育活動の評価及びその改善に関する目標」の下に定められている具体的な目標（1項目）が「おおむね良好」であることから判断した。

## 3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

### (優れた点)

- 中期計画で「教育成果の検証に向けた研究開発を行い、卒業生・修了生による評価や就職先での評価等、多角的な評価方法に基づいた検証システムを導入する」としていることについて、大学が掲げる教育目的及び卒業生・修了生の能力習得度を図る項目を明示し、卒業生・修了生及び就職先に対するアンケートの実施、分析を行い、その結果を取りまとめ、各学部分析結果を送付するとともに、各学部はその分析結果に基づき、就職先に対する聞き取り調査等を実施しており、卒業生・修了生の能力習得度について、就職先から高い評価を得ていることは、教育の成果を把握する体制を確立している点で、優れていると判断される。
- 中期計画「学生の学習動機を高めるために、学生参加型の授業の割合を増やす」について、小学校・中学校等の教育現場を体験することにより教員としての資質・能力の向上を目指す「実践参画型教育」、小学生・中学生を対象とした技術理科教育支援や地元民間企業等の若手技術者とグループ研修などを行う「ものづくり教育」等の学生参加型授業を実施していることは、学生の学習意欲を向上させている点で、優れていると判断される。

### (特色ある点)

- 中期計画「静岡大学の置かれた地域について学ぶ教育や地域特性を活かした教育を導入し、地域との共生を図る」について、各学部・学科において、富士山麓における森林植生及び環境保全事業の体験、静岡県が展開する事業に参加し静岡県の政策課題に貢献するなど、地域特性を活かした多様なフィールドワーク教育を行っていることは、地域について学ぶ教育を積極的に実施している点で、特色ある取組であると判断される。
- 中期計画「自主的学習を支援する環境の充実を図る」について、情報学部で「PC相談室」を、工学部で「数学の広場」を開設していることは、学生の自主的学習を支援

する環境の充実に意欲的に取り組み、学部教育の基礎の向上に貢献している点で、特色ある取組であると判断される。

- 中期計画「学生による授業評価の結果を、担当教員にフィードバックすると同時に学生に向けて公開する」について、学生の授業アンケートに基づき「授業カルテ」を作成して教員にフィードバックするとともに、学生にウェブサイトや冊子体で公表していることは、意欲的に教育活動の改善に努めている点で、特色ある取組であると判断される。

## II 研究に関する目標

### 1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究に関する目標」に係る中期目標（3項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

### 2. 各中期目標の達成状況

#### (1) 研究の成果に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究の成果に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のうち、1項目が「良好」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「研究活動の状況」「研究成果の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### (2) 研究実施体制等の整備に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究実施体制等の整備に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

#### (3) 研究活動の評価及びその改善に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究活動の評価及びその改善に関する目標」の下に定められている具体的な目標（1項目）が「おおむね良好」であることから判断し

た。

### 3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(優れた点)

- 中期計画で「光・電子情報分野、特にナノビジョンサイエンス領域における先端的研究について重点的に取り組む」としていることについて、21世紀COEプログラムに採択された「ナノビジョンサイエンスの拠点創成」により、電子工学研究所を中心に部局横断的な研究推進体制を組織し、画像工学に関わる研究を推進し、ナノビジョンサイエンスの先端的な研究拠点として、着実に成果を上げていることは、優れていると判断される。
- 中期計画で「生命・環境科学に関する学際的な研究に重点的に取り組む」としていることについて、生命の生存と安全に関わる細胞・個体の分子レベルの研究、生命と環境の安全に関わる病原菌に関する研究等を推進し、生命・環境科学に関する学際的な研究の拠点として、着実に成果を上げていることは、優れていると判断される。
- 中期計画「知的財産創出のための地域産学官連携プロジェクト研究、ベンチャー起業を目指した研究、新産業の萌芽となる未踏技術研究開発をそれぞれ推進する」について、浜松医科大学、民間企業等と共同で、知的クラスター創成事業「浜松地域オプトロニクスクラスター事業」を推進し、研究成果の事業化、特許出願、大学発ベンチャーの起業等で成果を上げていることは、優れていると判断される。

## III その他の目標

### (1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

#### 1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「社会との連携、国際交流等に関する目標」に係る中期目標（2項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

#### 2. 各中期目標の達成状況

##### (1) 社会との連携に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「社会との連携に関する目標」の下に定められている具体的な目標（1項目）が「おおむね良好」であることから判断した。

## (2) 国際交流に関する目標

[評価結果] 中期目標の達成状況がおおむね良好である

[判断理由] 「国際交流に関する目標」の下に定められている具体的な目標（1項目）が「おおむね良好」であることから判断した。

## 3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

### (優れた点)

- 中期計画「大学発のベンチャー企業を積極的に育て発展させる」について、ベンチャー支援ネットワーク室の設置、静大ベンチャー・パートナーズ投資事業有限責任組合の設立等の支援体制を整備し、平成16年度から平成19年度までの間に13社が起業していることは、大学発ベンチャー企業の育成に成果を上げている点で、優れていると判断される。

### (改善を要する点)

- 中期計画「国際交流に関するデータベースの構築と運用の拡充を図る」について、データベースの運用の拡充に十分な進捗が見られないことから、改善することが望まれる。
- 中期計画「開発途上国への教育研究及び技術開発面での協力体制を整備する」について、教育研究及び技術開発面での協力体制の整備に十分な進捗が見られないことから、改善することが望まれる。